

現代著名建築の機能と形態を分析する

Analyzing the Function and Form of Contemporary Signature Architecture

ルイス・サリヴァンは「Form Follows Function(形態は機能に従う)」と言った。

最近の世界建築はその機能と形態においてどれほどの達成度を果たしているのか。

目も覚めるような外観がカッコイイ建築は、形態が優先して機能的に劣っているとよくいわれる。

逆に使い勝手の良い建築は、形態的な魅力が乏しいとよくいわれる。

果たしてそうなのか。そのあたりにフィットする例を最新建築の中からピックアップして検証する。



淵上正幸 / Masayuki Fuchigami



(株)シネクティクス主宰
建築ジャーナリスト&エディター

東京外国語大学フランス語学科卒業。海外建築家や海外建築機関などの密接な情報交換により、海外建築関係の雑誌や書籍の企画・編集・出版をはじめ、イベント、建築家のコーディネート、海外取材、海外建築ツアーの講師など多数を手掛ける。主な著書に、『世界の建築家51人—思想と作品』(彰国社)、『もっと知りたい建築家』(TOTO出版)、『ヨーロッパ建築案内』(TOTO出版)、『アメリカ建築案内』(TOTO出版)、『世界の建築家51人—コンセプトと作品』(ADP)、『建築家をめざして』(日刊建設通信新聞社)、『アーキテクト・スケッチ・ワークス』(グラフィック社)など。

淵上 正幸講演会

日時：8月26日(金) 18:00～

所：内田洋行ユビキタス協創広場「U-cala」札幌市中央区北1条東4丁目1-1
サッポロファクトリー1条館1階 Phone(214)8613

会費：1000円(学生無料)